

\*\*\*\*\*  
**赤潮情報(定期赤潮調査結果)**  
 \*\*\*\*\*

鹿児島県水産技術開発センター  
 平成30年6月27日

鹿児島湾 赤潮情報 No.6

[1] 6月26日の調査結果

(1) 赤潮生物の出現状況

有害種であるシャットネラ マリーナが通常検鏡により6ヶ所で最高2細胞/mL、濃縮検鏡によりSt.③で0.029細胞/mL、St.⑩で0.112細胞/mL確認されました。

また、セラチウム属が全域で確認され、最高51細胞/mLでした。

珪藻類は、全域で多い状況でした。

(2) 海況

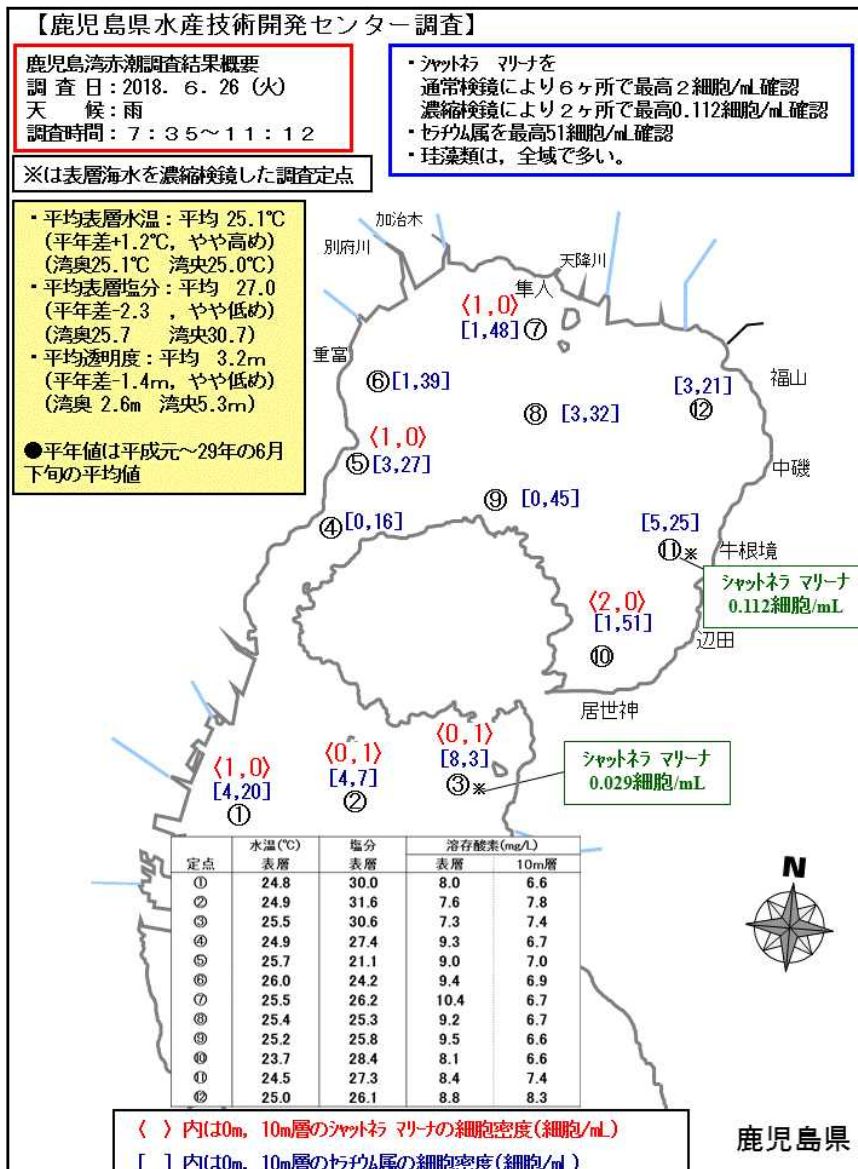
平年値と比べ、表層水温はやや高めで湾奥部で23.7~26.0℃、湾中部で24.8~25.5℃。塩分はやや低めで21.1~31.6、透明度はやや低めで2.0~6.5mとなっています。

水温：平均 25.1℃ 湾奥部 25.1℃ 湾中部 25.0℃

塩分：平均 27.0 湾奥部 25.7 湾中部 30.7

透明度：平均 3.2m 湾奥部 2.6m 湾中部 5.3m

(平年値は平成元年~29年の6月下旬の平均値)



[2] 今後の赤潮発生の予想

26日の調査では、競合種である珪藻類は全域で多いものの、水温は平均25.1℃、塩分は30以下とシャットネラ マリーナの適水温、適塩分に入り、今後の環境次第では増殖する可能性があります。

各漁協・養殖業者におかれましては、定期的に検鏡等を継続し、十分な注意をお願いします。

(次回調査は7月上旬を予定)  
 赤潮情報(携帯用)：<http://kagoshima.suigi.jp/akashio/index.shtml>

赤潮情報(パソコン用)：<http://kagoshima.suigi.jp/akashio/newHP/index.html>



